



長瀬町議会議長  
板谷 定美

年頭のあいさつ

迎春



長瀬町長  
大澤 タキ江

あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、ご家族お揃いで、ご健勝にて新しい年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

年頭に当たり、長瀬町議会を代表し謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

去年は、新型コロナウイルスの感染が蔓延し、感染力の強い「デルタ株」が猛威を振っていました。今のところ一応の収束が感じられますが、予断を許さない状況であり、感染の再拡大に十分注意する必要があります。一刻も早く経済や社会活動が落ち着きを取り戻すことを願う次第です。

今、地方議会は、危機に直面しております。町村議会議員選挙では、無投票当選が増え、議員のなり手不足が課題となっているばかりか、壮年層や女性の立候補は増えず、議員の属性の偏りは是正されておられません。こうした危機を克服するためには、議会が政策形成機能を発揮して、存在意義を示すことが必要であります。

地域課題への取り組みを通じて、町民一人ひとりの声に耳を傾け、町政を取り巻く環境の変化を的確にとらえながら、議員一人ひとりがその責務を自覚し、議員活動にまい進するとともに、魅力と活力のある社会の実現に向けて誠心誠意努めてまいり所存でございます。

町民の皆様方におかれましては、これまで以上のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、迎えました新年が明るく希望の持てる年となりますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

町民の皆様には、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃より町政の推進にあたり、深いご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は一昨年1月に発生した新型コロナウイルス感染症が収まらず、大変難しい町政運営が迫られる年でもございました。しかしながら、オリンピック東京大会の聖火リレーが町を通過し、コロナ禍の中で明るい話題と未来への希望を町にもたらしてくれましたことは、大変意義あるものだったと思います。聖火リレーの成功のためにお骨折りをいただきましたボランティアスタッフの方や消防団員の方をはじめ、地元の皆様にも、深く感謝申し上げます。

昨年秋以降、収束の鍵となるワクチン接種が進んだことで感染者数は大幅に減少し、明るい兆しが見え始めている状況ではありますが、今後も気を緩めずに町民の皆様のご健康と暮らしを支えるための取組を進めてまいりますので、町民の皆様におかれましては、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。そして、本年も新型コロナウイルス感染症に負けず「人・社会・自然のすべてが健康ではつらつとしているまち、はつらつ長瀬」の実現に向けて、精一杯取り組んでまいります。

また、本年は町名が「長瀬町」となってから50周年を迎える節目の年でもあります。人も自然も素晴らしいこの長瀬町を長きにわたり支えてくださった皆様へ、改めて謝意を表するとともに、一層魅力的な町として次世代へ受け継いでいく責務を強く実感しております。

本年も、長瀬町の更なる発展のため、少子高齢化や移住定住の促進をはじめとした行政課題に、職員一同真摯に向き合っている所存でありますので、町民の皆様にはより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、令和4年が町民の皆様にとりまして、健やかで安寧な1年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。